

フリガナ ご氏名	タグチ ミツヒロ
	田口 光弘
企業・団体名	農研機構 中央農業研究センター
所属 (企業・団体の)	農業経営研究領域
役職	上級研究員



ご略歴	2002年に筑波大学大学院 生命環境科学研究科修士課程を修了する。2004年から、農研機構 中央農業総合研究センターに勤務する。その後、農研機構 総合企画調整部 研究戦略チーム(2012-2014年)、農研機構 北海道農業研究センター(2014-2018年)を経て、現職に至る。2008年に博士号(農学、筑波大学)取得。日本施設園芸協会「次世代施設園芸地域展開促進事業」専門委員(2017-2019年度)、日本GAP協会 普及大賞選考委員(2017年度-)等に就任している。
専門および 得意な分野・研究	農業法人における経営管理問題、特に人的資源管理と、GAPの経営管理への活用方策について研究している。また、単著として『大豆フードシステムの展開』(2017年、農林統計協会)を発行。
セミナータイトル	GAPと経営改善
セミナー概要	GAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理)は、農業生産における食品安全・労働安全・環境保全のリスク低減に向けた生産工程管理活動である。海外では、取引の際に、流通業者が農業者に対して要求する条件としてGAPが普及しているが、日本では、取引条件よりはむしろ農業者側の自発的な取組として、これまで普及が進んできた。GAP導入に伴う農場内のルール作りや従業員教育、作業記録等の各種記録の解析等を通して経営改善が図られた事例が、特に雇用型経営において見られ、GAPは経営管理の改善にも有効と考えられる。
ご講演中のキーワード	GAP, 農業経営におけるリスク, 雇用型経営, 人材育成, 記帳データの活用
本セミナーで 習得できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GAPの概要について知ることができる</li> <li>● 経営管理ツールとしてのGAPの活用について知ることができる</li> <li>● 日本国内およびヨーロッパにおけるGAP導入事例でのGAP導入のメリット・デメリットについて知ることができる</li> </ul>